

〔NPO法人環境を考える市民の会〕

【団体の概要】

私たちは昔のようなゆとりある「海老川」環境を取り戻し地域住民の幸せかつ安全な生活環境を構築するため、海老川界隈の水環境の再生と保全に向けテーマを設定し、事業を実施しています。近年は野、里山は開拓され機械文明が進み、人それぞれが自然との触れ合う機会も少なく、生活圏に殺伐としたものを感じるため、次世代を継ぐ子供達に、ゆとりと自然の恵みを感じる場を提供する学び塾を実施しています。



【8月地域との触れ合い学びの場】

事業報告

【支援金確定額：112,680 円 支援率：50.0%】

■実施した事業の内容

- 1) 出前学習の普及啓発実施
八栄小学校：10月23日(火)4年生120名海老川の水、生き物、生息植物、橋と像、歴史
- 2) 夏休み子供環境「学びの場」雄鹿野自治会館
8月29日(水)13時～17時
講義：夏の生き物(ちようちょ羽化するまで)工作：木の実でペンダント
- 3) 地域の自然との触れ合い(長津川をたどり塚田界隈の巨樹と史跡)
「森(木)と川」11月23日(土)12時～16時30分
- 4) 海老川写生会と自然観察
3月30日(金)実施

■支援金の支出内容

- 1) 報償金は諸事業の講師料として使用
- 2) 消耗品費は工作用原材料及び文具消耗品、教材資料などの印刷用インクカートリッジ、紙などに使用
- 3) 印刷製本・環境学習用に役立てるための教材印刷、マップ印刷
募集チラシと事業ごとおしらせ、その他諸都度のコピー
- 4) 通信費は都度事業の啓発、募集、切手、ハガキ代
- 5) 使用料は地域の自治会館を実行委員会の会議と事業用に借用
- 6) その他、写生会用画材入れ、画板
以上事業達成するための諸経費です。



【地域の自然長津川界隈探索(11月)】

■事業の成果と今後の展望

昔から海老川は船橋の生活の動線として船橋発祥発展の要と位置付けられ親しまれて来ました。この海老川界隈の環境、里山、谷津田の自然こそが先人の残した尊い遺産だと思っています。この尊い遺産を守るためにも私たちは、この先も環境に対する意識啓蒙、更なる活動と、環境問題を深く考え、良好な環境を次世代に残し、継いでいける事を目的に頑張りたいと思っています。

■問い合わせ先：事務局長 菊地 けい子(きくち けいこ)

TEL：047-465-7790 Eメール：kikuchi-14719@lake.dti.ne.jp